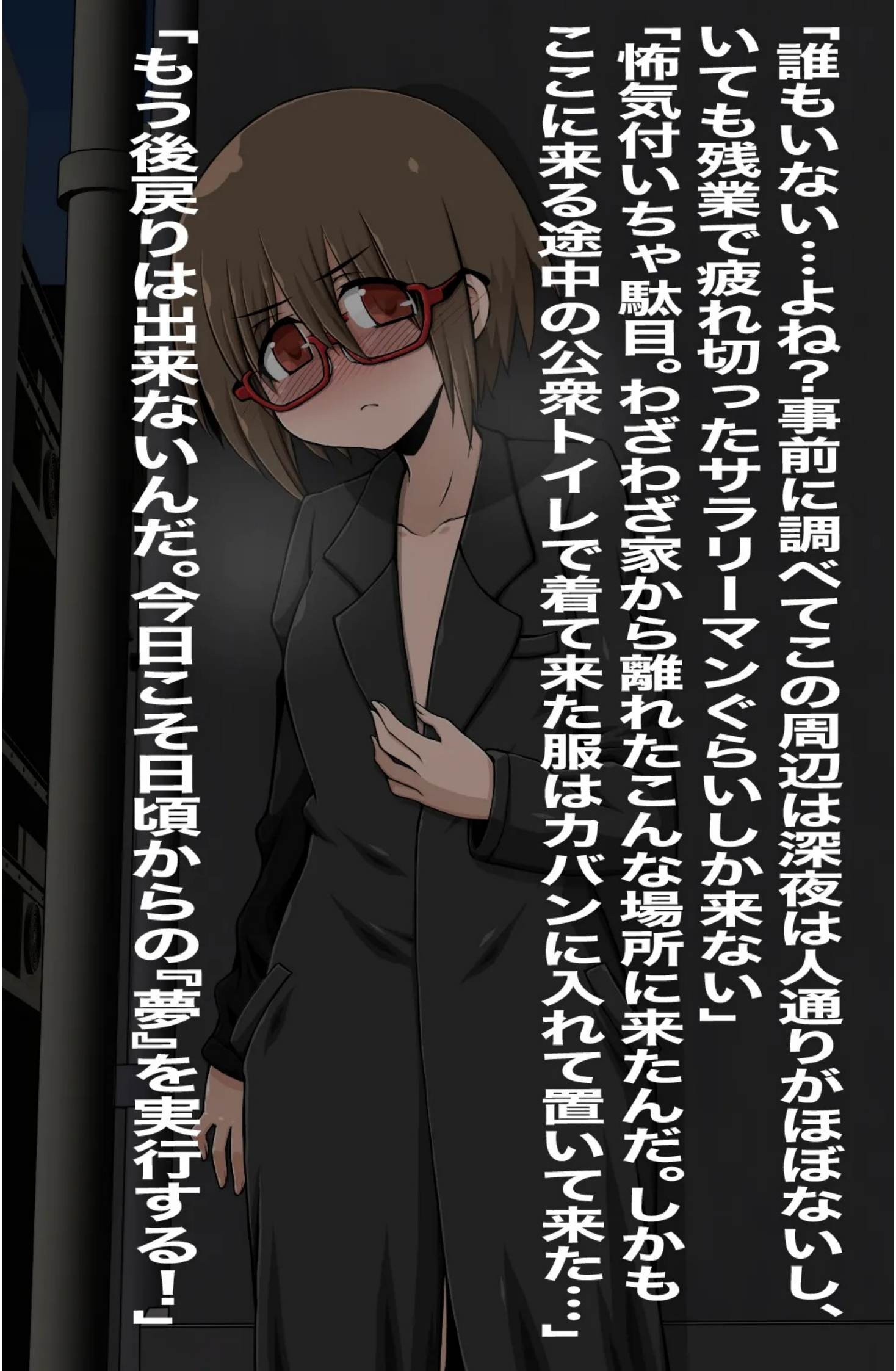
キョロ
ふー
・・・
キョロ
ふー
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ


「誰もいない…よね？事前に調べてこの周辺は深夜は人通りがほぼないし、いても残業で疲れ切ったサラリーマンぐらいしか来ない」
「怖気付いちゃ駄目。わざわざ家から離れたこんな場所に来たんだ。しかもここに来る途中の公衆トイレで着て来た服はカバンに入れて置いて来た…」
「もう後戻りは出来ないんだ。今日こそ日頃からの『夢』を実行する！」

ひろ♥
は…♥

「うわ…めくっちゃった。風が少し冷たいな。ていうか心臓が凄い勢いでドキドキしてるし、恥ずかしさで頭が沸騰しそう」
「でもー！」
「誰もいない中、ちょっと肌を晒しただけなのにこんなに『気持ちいい』なら全部晒したらどれだけ気持ちいいんだろう♡」

ハァハァ

ドキ♥
はぁ♥
はぁ♥
ドキ♥
ドキ♥
ドキ♥

「ああ…やっちゃった♡夜中だし、人通りも少ないこんな路地裏でだけど♡遂に…外で裸になっちゃった♡」
「おっぱいもおま○こも…恥ずかしい所まる見えだ♡」
「もし今ここに人が来たら私の人生終わっちゃう♡」
「もし怖い人に見つかったらきっと私みたいな変態女強引に組み敷かれて死ぬまでレイプされちゃうかも♡」

ひく
あ♡
はっ♡
むにゅ♥
びくっ
くちゅ♥
ちゅぷ♥
くちゅ♥

「あは…これ凄い♡部屋でオナニーするよりずっと気持ちいい♡」
「外で…こんな♡誰かに見られちゃうかもしれないのに指が止まらない♡」
「あっ♡だめ♡イく♡外でイっちゃう♡こんな場所で…いけない事してるのに♡」
「声をもっと出したい♡大きな喘ぎ声をあげて快感に溺れたい♡でもそんな事したら流石に声に釣られて人が集まっちゃう。こんな状況見られたら言い訳なんて出来ないよね…そしてバレちゃうんだ。私が変態な露出狂だってー！」

あっ♥
あ…ん♥
ビクッ!
ビクンッ
だめ…♥
イ…く♥
ガク
くちゅ
じゅぷ
じゅポ
ズぷ
ガク

「露出狂ってバレたから何？もうこんな格好してる変態なんだからね♡
それに声出した方が気持ちいいんだよ？だったら気にせず声出せばいいじゃん♡」
「露出オナニー気持ちいいっ♡もっと♡もっと声出したい♡誰かに聞こえるぐらい
大きな…だめ♡イく♡イく♡もう…きちゃうっ♡イっちゃーーー」

イくっ♥
ビクッ
ビクッ
ビクッ
フニャ
フニャ
フニャ

はっ…♥
はあ…♥
ぶるっ…
ドロッ…
かいく
かいく

ふるっ!!
!

「あぅ…やっぱり夜だと少し寒いかも。ちょっとトイレに行きたくなっちゃった」
「着替えた公衆トイレは…ちょっと距離あるし、コンビニのトイレもこんな格好じゃ流石に入れないし…」
「……だったら」
「もう『ここ』でしちゃえばいいじゃん♡」

ふる
ふる
あ…ああ
ちょろろろ…
がく
がく

「ああ♡おしっこ出てる♡こんなトイレでもない所で私おしっこしちゃってる♡」
「朝になったら人も来るのに♡この水溜りが私のおしっこだって気付く人いるのかな…どうしよう、おしっこするの癖になりそう♡」
「次は…もっと人が通る場所にマーキングしたいなぁ♡」

ドキ♥
はぁ♥
ドキ♥
はぁ♥
ドキ♥
ドキ♥

『口裂け女変装』はFANBOXにて